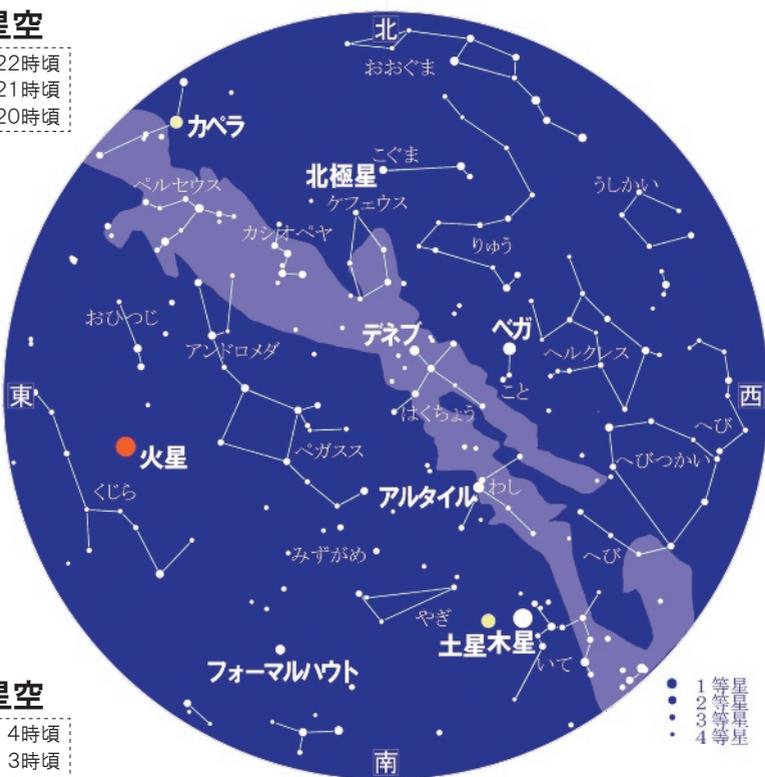


星空ガイド 9月16日～10月15日

よいの星空

9月16日22時頃
10月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

9月16日 4時頃
10月1日 3時頃
15日 2時頃



[太陽と月の出入り(大阪)]

月	日	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
9	16	5:41	18:03	3:50	17:37	28.0
	21	5:45	17:56	9:48	20:38	3.7
	26	5:48	17:49	14:57	0:00	8.7
10	1	5:52	17:42	17:45	4:55	13.7
	6	5:56	17:35	20:08	9:33	18.7
	11	6:00	17:28	---	14:05	23.7
	15	6:03	17:23	3:46	16:42	27.7

※惑星は2020年10月1日の位置です。

10月6日、火星が最接近

10月6日、火星が地球に最接近します。この日の火星の明るさは-2.6等で、南西に光る木星(-2.3等)よりも明るくなります。10月14日には衝をむかえ、一晩中空で見やすい時期でもあります。

地球と火星は約2年2か月ごとに近づいたり離れたりを繰り返しています。前回2018年の最接近では、地球に5,759万kmまで近づく大接近でした。今回は6,207万kmですから、“やや”大接近といったところでしょうか。

最接近の前後は、普段よりも火星の視直径が大きくなりますので、望遠鏡で火星表面の黒っぽい模様や、極冠とよばれる白い模様も見えるかも知れません。機会がありましたら、ぜひ望遠鏡でもお楽しみください。

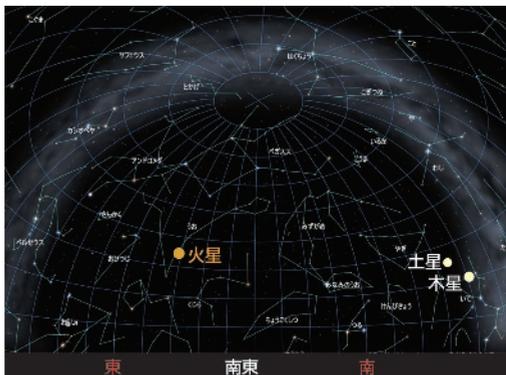


図. 10月6日 夜9時ごろの大阪の空
(ステラナビゲータ10で作図)



(科学館補助スタッフ
藤原氏撮影)
※この時は火星表面に大砂嵐が発生し、黒っぽい模様はほぼ見えなくなっていた。

写真:2018年7月の火星

中秋の名月を見よう

旧暦8月15日の月は「中秋の名月」と呼ばれ、この日はお月見をする日とされています。現在の暦では、今年は10月1日(木)となります。日付でお月見の日を決めるわけですから、必ずしも満月にはなりません。ですが今年は翌2日の朝6時に満月となりますから、ほぼ丸い月を楽しめるのではないのでしょうか。晴れたらぜひ、昔ながらの風習にならい、おだんごやお餅などを食べ…、いえ、まずはお供えて、お月見を楽しんでみてはいかがでしょうか。

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
9	17	木	●新月(20時)
	18	金	月が最近(359,100km) 夕方の低空に月と水星がならぶ
		土	秋の彼岸の入り
	21	月	敬老の日
	22	火	秋分/秋分の日
	24	木	●上弦(11時)
	25	金	月と木星・土星がならぶ

月	日	曜	主な天文現象など
10	1	木	中秋の名月
	2	金	○満月(6時) 水星が東方最大離角
		日	月が最遠(406,300km)
	6	火	火星が最接近(6,207万km)
	8	木	寒露
	10	土	●下弦(10時)
	14	水	明け方に月と金星がならぶ 火星が衝

西野 藍子(科学館学芸員)